

第 25 回 ウルトラ FM 番組審議会

1 開催年月日

令和 6 年 12 月 19 日（木） 10：00～11：00

2 開催場所

須賀川市民交流センターtette ルーム 4-6

3 委員の出席

委員総数 6 人

出席委員数 4 人

(1) 出席委員の氏名

堀江祐介（委員長）

安藤清美（副委員長）

横山知佳

真壁正人

(2) 欠席委員の氏名

村上香織

久保木彩歌

(3) 放送事業者側出席者

柳沼宏延（放送局長）

4 あいさつ

（堀江委員長）

寒くなり、風邪やコロナウイルス、マイコプラズマ肺炎と 3 つ同時に流行っている。皆様においては健康で年末年始を過ごしてほしい。

5 議題

(1) 須賀川市特別番組「牡丹焚火の魅力」(12/7 10:00～10:30 放送)

(2) その他

6 議事の概要

(1) 須賀川市特別番組「牡丹焚火の魅力」(12/7 10:00~10:30 放送)

について事務局からの概要説明の後、意見聴取を行った

(横山委員)

昨年とは打って変わってコメンテーターの質問がとても良くなっていた。行事の説明もありとても良かった。普通は聞けない火守の方、そして歌人の方も普通に須賀川市民をベースに答えていた。昨年放送された番組と比べ、聞いている側と同じ目線に置いたコメントが良かった。また、一般の方で小学生が楽しく俳句をされている姿や、これを目当てに楽しみに遠方から来る方、俳句をしていないが牡丹焚火を楽しみにしている方とのインタビューがとてもバランスがとられ良かった。

(安藤副委員長)

パーソナリティの武藤さんは良かった。桔槔吟社、講演者の高田正子先生、市民の方々と、番組構成の流れは良かった。ただ、気になる所として、紹介する方で市の職員の方を「さん」、講演者の方を「先生」と紹介していたが、「さん」で統一した方がよい。また、市の方が牡丹園の説明をしていたが違う部分があり、柳沼源太郎さんは初代園主でなく3代目。気を付けてほしい。牡丹園にゆかりのある吉川英治氏の小説「宮本武蔵」を市の職員が紹介しているが説明が足りない。聞いている人にとって分かりやすいように伝えてほしい。園内に句碑がある歌人、北原白秋氏の説明があっても良いのでは。番組内で火守の方のインタビューがあったが、火守についての説明が不足していた。初めて聞いた人がどんな役割を持っているのかなど、説明があっても良かったのでは。最後に、俳句の季語に須賀川市には牡丹焚火と松明あかしがあるが、県内には相馬の相馬野馬追を含め3つしかないので、そのうち2つが須賀川市のすごさも説明があっても良かったのではないか。

(真壁委員)

火守への説明が無く、私自身分からなかった。今度調べて、実際に牡丹焚火に参加したいと思う。番組内容はとても興味深い。特に、当日はお茶のサービスや、講演会、俳句大会との流れがあることを知らなかった。須賀川市民も知らないなので、是非多くの方にPRしたいと思った。

(堀江委員長)

武藤さんの声は聞きやすかった。私は牡丹焚火を実際に見たことが無いが、最後に燃え散る牡丹薪から出る紫の淡い炎を見て見たいと思う。これを、伝えるには丁寧に説明が必要で、元博物館館長である安藤副委員長による解説があっても良いのでは。

(柳沼局長)

ご指摘いただいた件について、検討を行うとともに、今後の番組作りに生かしていきたい。

(2) その他

なし

7 報告

事務局の柳沼局長から、年末年始の特別番組及び1月の番組改編について説明が行われた。

8 審議会の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

・特になし

9 審議会の意見の概要の公表

公表方法：自社ホームページへの掲載

公表内容：本議事録

公表年月日：令和7年1月4日

10 その他の事項

次回の放送番組審議会日程について

・令和7年3月を予定。開催日は会長と相談の上決定し、委員に連絡する。